

～ たじみの未来を創造しよう～

# 対話集会報告書

## 令和4年度 市民と議会との対話集会

多治見市議会では、10月31日から11月9日にかけて、市民の皆さまと議会が意見交換を行う「市民と議会との対話集会」を開催しました。多くの皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。このたび、報告書を作成いたしましたので、是非ともご覧ください。

今回は、各常任委員会と特別委員会が、それぞれの所管事項についてテーマを設定し、異なる4つのテーマについてお話をさせていただきました。なお、特別委員会では、ワークショップ形式を取り入れて意見交換を行いました。皆さまからいただきましたご意見等につきましては、各委員会で協議し、その内容や今後の方向性もあわせて掲載しています。

今後も議会へのご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。



参加者合計 95人

総務 常任委員会	<b>テーマ</b> 防災力の向上について			
	10月31日(月) 14:00 本庁舎	12人	11月7日(月) 14:00 駅北庁舎	12人
経済建設 常任委員会	<b>テーマ</b> ロケツーリズムの活用法			
	10月31日(月) 19:00 本庁舎	5人	11月2日(水) 19:00 駅北庁舎	7人
厚生環境教育 常任委員会	<b>テーマ</b> 多治見市の環境を考えてみませんか？			
	10月31日(月) 19:00 根本交流センター	16人	11月9日(水) 14:00 本庁舎	8人
本庁舎建設に 関する特別委員会	<b>テーマ</b> 市役所本庁舎建て替えについて			
	11月7日(月) 19:00 駅北庁舎	19人	11月9日(水) 19:00 本庁舎	16人

発行：多治見市議会 編集：広報広聴研究会

多治見市日ノ出町2丁目15番地（議会事務局） TEL0572-22-9899 FAX0572-25-6437

**総務常任委員会 防災力の向上について** 参加：24人

**課題**

自助、共助、公助、バランスの取れた取り組みで市民の生命財産を守る。  
 自分の命は自分で守る。家庭での備え、食料備蓄、家具転倒防止、感震ブレーカー、情報の収集は十分か。  
 向こう三軒両隣。町内会加入率が低下する中、地域で助け合う仕組みづくりをどうするのか。  
 多治見市の公助は十分か。国の指針と比較した消防職員の充足率は60%程度、地域に根付く非常勤の消防団も団員確保に苦慮している。装備はもちろん、消防職員や消防団員の確保をどう進めるのか。

**委員会での検討・協議の内容等**



多治見市は感震ブレーカーの設置補助を行っているが、地域でまとめる必要があり、防災に積極的な地域でも普及率は50%ほどである。  
 また、各自で水は準備されているが、トイレが問題ではないか。ビニール袋と凝固剤による水を使わないトイレを、地域行事の際に配布し、ひとりひとりの防災意識向上に努める地域もある。  
 防災訓練への積極的な取り組みの必要性と、自主防災組織が地域で機能するよう、行政として考え直す必要がある。  
 オール市役所で市民の安心安全に努める公助力。必要な増員は行うべきと考える。

**今後の委員会の動き**

地域防災力について、視察で伺った横浜市の例など、他都市の取り組み等を参考に、積極的に取り組んでいく。  
 職員数について、多治見市が来年度から8年かけて取り組む定年延長の機会を捉えて、適正な定員管理となるよう、委員会として働きかける。

**おもな意見**

- ・感震ブレーカーの普及や、災害時のトイレの問題への対応が大切。水を使わないトイレの講習会を地域で開催し、普及に努めている。
- ・地震で家が倒壊し、火災が起きるのが心配。国の対策も重要だが、地震に対する多治見市独自の対応策を考えてほしい。
- ・多治見市は防災士の育成が進んでいない。防災士の資格取得費用を補助する自治体もある。活発に活動している自治体を参考に、防災力を高める活動を牽引する人材を育成するべき。
- ・災害時は情報が大切。スマホがない方、防災無線が聞き取れない方には情報が届かない。どのように届けるのが課題。
- ・防災訓練の内容を工夫し、災害に対する実効力を高めたい。
- ・自治会は地域で支援を必要とする人の名簿（要支援者名簿）を持っているが、名簿の活用方法が市から示されていないので、どのように活用していいのかわからない。
- ・障がいのある人等への避難の支援が、どのような仕組みなのかわからない。助けが必要な人の名簿が自治会にあるようだが、その名簿は、災害が起きた際にどのように機能するのか。助けに来てくれる人とは顔見知りでありたい。

**経済建設常任委員会 ロケツーリズムの活用法** 参加：12人

**課題**

令和3年、多治見市を舞台にしたアニメ「やくならマグカップも」が全世界に向け配信された。アニメの舞台となったまちは聖地巡礼の地となり、インバウンドも見込めるが、コロナ禍もあり活用し切れていないのが現状である。  
 多治見市には多くの魅力的な観光資源がある。どの様にアピールしたら、より多くの人に知っていただけるのか。

**委員会での検討・協議の内容等**



多治見市内の観光施設は、それぞれの接続が悪く、点と点になってしまっている。点と点を繋ぐ交通機関があれば、より多くの観光客を呼び込めるのではないかと。  
 アニメ「やくならマグカップも」が放送されたが、市民の盛り上がりには温度差がある。市内全体で盛り上がるような仕掛けが必要ではなかったか。  
 ロケ地として売り込んでいくには官民が一体となって行動していくことが必要。そのような活動を可能とする組織を作っていくべきなのか。

く場合、行政の力だけでなく民間との連携が必要である。  
 多治見市にはロケ地になり得る資源は多くあるが、どの様に関係者に売り込んでいくのが今後の課題である。  
 多くの観光資源が存在している事は市民の知るところである。今後、その観光資源を官民一体となってどの様に活用し広めていくか、検討を進めていく。

**おもな意見**

- ・アニメ「やくならマグカップも」の効果はどうだったのか、全市民的な波及効果はあったのか。
- ・多治見市は歴史がある。その歴史をもっとアピールしたほうがよい。
- ・良いところをよりよく見せたり、PRしたりするには、しっかりとプロに頼むべきである。それなりに費用をかけなければ良いものはできない。
- ・多治見市は適度に田舎、適度に都会なところがよい。ながせ通りにはいいお店もある。
- ・多治見市内には、魅力のあるところがたくさんあるが、それぞれが単独で所在し、セッティングもばらばらである。それらを連携させた大きなまちづくりがポイントではないか。
- ・モザイクタイルミュージアムはインパクトがあるため、人を呼び込み、まちを盛り上げる一助となっている。今あるロケーションを生かしていくために、何が必要かを考えていくことが重要。
- ・近隣で行われるイベントとタイアップしたイベントの開催など、人を呼び込む仕掛けをしてはどうか。
- ・ジブリパーク開園に向けた観光動画に、タイルの流し台の映像があった。全国的に注目されるチャンスなので、より情報発信に努めるべき。

**今後の委員会の動き**

ロケツーリズムを定着させるには、官民一体となった事業展開が必要である。また、多治見市全体を観光地として考えてい

## 厚生環境教育常任委員会

## 多治見市の環境を考えてみませんか？

参加：24人

## 課題

多治見市では、『環境と共生するまち 多治見』をテーマに、地球環境の保全、自然環境の保全、物質の循環の保全、生活環境の保全、実行主体となる市民・事業者・市の連携協力の5つの環境分野目標を設定している。

すべての市民の参加と協働により、豊かで快適な環境を保全すると共に創出し、将来の世代へと引き継いでいくため、今何をすべきか、どのように実行していくべきなのか。

## 委員会での検討・協議の内容等



プラスチックごみゼロ宣言を発信する京都府亀岡市、プラスチックごみ削減の推進について、市民・事業者・行政の三者協働を重要施策とする大阪府吹田市の視察調査を行った。

市民と議会との対話集会では、多様性

動植物の存続にとっての里山の保全・維持の大切さや、土地開発やソーラーパネルによる自然環境への影響など、環境についての意識の高まりを再確認した。

## 今後の委員会の動き

環境への悪影響を少しでも減らすために、ひとりひとりがごみの排出量を削減していくことが重要と考える。「使い捨てなどのライフスタイルの見直し」「限りある資源を有効に使う」「豊

かな自然と共に生きる」をキーワードに、市民・事業者・行政の三者協働で2R（リデュース・リユース）を優先したごみ減量、食品ロス削減の推進、分別によるリサイクルの促進、プラスチックごみ削減の推進により、課題解決に取り組むことが重要である。また、SDGsへの取り組みも積極的に行うべきである。

ごみを生かそう、くらしを見直そう、ごみは大切な資源です、を掲げ、市民への周知、啓発を継続して発信していく。

## おもな意見

- ・里山の自然環境を好んで多治見市に越してきた。多治見市の自然環境の良いところをもっとPRしてほしい。
- ・多治見市は山林は多いが秘境の趣ではない。名古屋からのアクセスが良いので、山林をキャンプ場等に使ってはどうか。自然の良さをPRして利活用した方がよい。
- ・アウトドアブームを利用して、地球村だけでなく、潮見公園や市内の公園を活用し、自然に親しむ機会を増やす工夫があるとよい。
- ・喜多緑地は大変いい公園なので、イノシシ対策と小まめな除草により、子どもの遊び場、高齢者の運動の場になるとよい。
- ・太陽光発電は再生可能エネルギーではあるが、山林伐採などによる自然環境への悪影響が心配。制限はできなくても、事業者に対して近隣への配慮を求めることはできないか。
- ・土岐川の水はきれいになったが、交通量が多くなり騒音と大気汚染が気になるなど、多治見市は住みやすいけど住みにくい。
- ・大原川沿いでは、ホテルやヒガンバナ、川に入って遊ぶ子どもの姿があり、うらやましい光景である。
- ・様々な取り組みをする中で、モデル地区やモデルケースとなった取り組みをどのように地域内外に浸透させるかが課題。

## 本庁舎建設に関する特別委員会

## 市役所本庁舎建て替えについて

参加：35人

## 課題

令和2年3月定例会に提案された多治見市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例が廃案になった後、議会における議論を深めるべく、論点の整理を進める必要があった。

## 委員会での検討・協議の内容等



## ①論点の整理

改めて同条例案が議案として提出されるに向け、まちづくりやインフラ整備、駐車場といった様々な観点から論点を整理した。

## ②議案の可決

令和4年6月定例会において、多治見市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例が特別多数議決（出席議員の3分の2以上の者の同意が必要）で可決。

## ③基本構想策定に向けた議論

議会から執行部に申し入れをした結果、本庁舎建て替えにおける基本構想の策定は、令和5年4月の統一地方選挙後に行われる地区懇談会等での意見も踏まえてなされることとなった。本庁舎建設に関する特別委員会としては、令和4年度中に議論をまとめ、基本構想策定において留意していただくべきことを提言としてまとめた。

## 今後の委員会の動き

令和5年4月の統一地方選挙後、本庁舎建て替えに向けた基

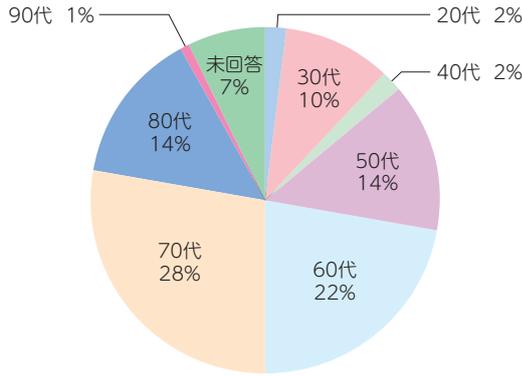
本構想の策定を経て、基本設計、詳細設計等の議論が進められる予定である。本庁舎建設にあたっては、将来的な利用方法も考慮の上、広く市民の皆さまのご意見をいただきながら議論を進める必要がある。議会としては、市民と議会との対話集会等の機会を捉えて、積極的な広聴に努めていく。

## おもな意見

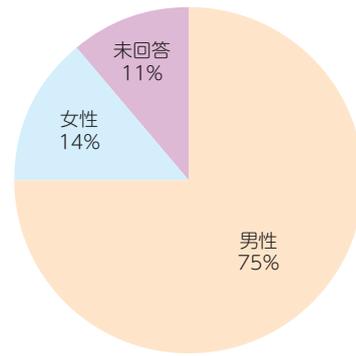
- 駐車場について**：使いやすい広い駐車場が必要。気軽に出入りできる駐車場が必要。駐車場はそれほど必要ない。
- 周辺整備について**：アクセス道路を整備して渋滞解消を図ってほしい。公共交通を充実させてほしい。コンパクトシティに対応する道路インフラの充実を図ってほしい。
- デジタル化の推進について**：ICTを活用した申請受付・証明書交付により来庁不要の市役所にしてほしい。市民が使いやすく職員の生産性が向上するDXの導入を図ってほしい。
- 建設コストについて**：将来の人口減少に対応し、トータルとして財政負担の軽減を図ってほしい。建設コストを洗い出して進めてほしい。必要なもの・不要なものを精査してほしい。
- 庁舎について**：市民が気軽に行ける市役所にしてほしい。虎渓用水広場と一体的に利用できるようにしてほしい。オープンスペースやフリーフロアを充実させてほしい。コンサートや講座等が開催できるようにしてほしい。一般の人でも利用できる施設（食堂等）を整備してほしい。職員が動きやすい環境整備をしてほしい。シンプルな建物にしてほしい。
- 窓口対応について**：効率的な事務処理の工夫をしてほしい。地区事務所の充実により、本庁舎への来庁が不要となる仕組みをつくってほしい。
- その他**：長期的なビジョンで考えてほしい。

# 参加者アンケート集計結果

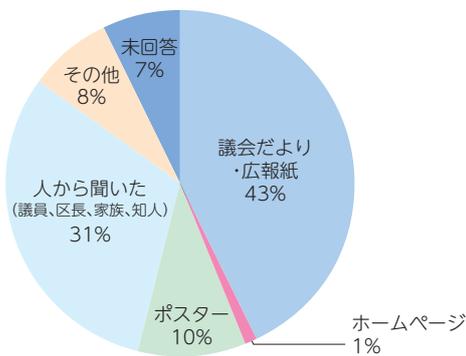
## 年齢



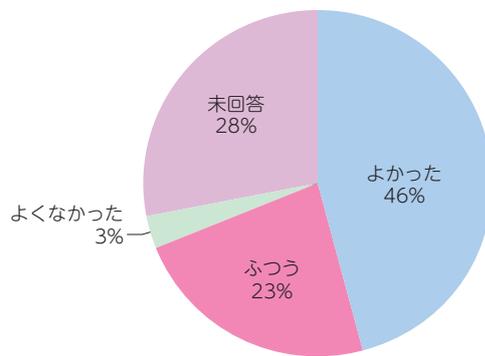
## 性別



## 今回の「対話集会」の開催を何で知りましたか?(複数回答あり)



## 「対話集会」のテーマ・内容はどうでしたか?



### 今回の対話集会でお気づきの点(よかった・よくなかった)をご記入ください (○よかった・■よくなかった)

- 地域で対応に違いがあることがわかった。思いもよらない意見や具体的な事例を聞くことができた。……………(総務)
- 真摯な意見交換ができた。議員は市民の感覚や生の声を聞くことができていた。……………(経済建設)
- 異なる地域の方とそれぞれの課題を話し合うと、違った側面からいい考えを提案し合えてよい。……………(厚生環境教育)
- いろいろな立場の方々から、多様な意見が聞けた。ワークショップ形式に戸惑ったが、多くの意見を聞くことができ、議論が深まった。……………(本庁舎)
- 時間が短い。……………(総務、経済建設、厚生環境教育、本庁舎)
- 参加者が少ない。……………(総務、経済建設、厚生環境教育)
- テーマ説明の際に、現状分析や好事例を紹介するなど、どのような議論がしたいのか方向性を示してほしい。……………(総務、経済建設)
- テーマを絞って議論した方がよい。……………(厚生環境教育)
- 期待したような内容ではなかった。……………(本庁舎)

### 今後対話集会で取り上げるとしたら、どんなテーマがよいですか?

- ・日常的な暮らしに関係の深いもの、身近なこと、細分化した課題……………(総務、経済建設、厚生環境教育)
- ・少子化問題や子育てについて……………(経済建設、厚生環境教育、本庁舎)
- ・公共交通や道路渋滞について……………(経済建設、厚生環境教育、本庁舎)
- ・地域交流や介護、自治ボランティア活動などの高齢化社会への対応について……………(経済建設、厚生環境教育、本庁舎)
- ・要支援者を交えた防災訓練、災害時の個別避難計画について……………(総務、厚生環境教育)
- ・魅力ある多治見づくり、多治見市が目指すべきまちづくりについて……………(経済建設、厚生環境教育)
- ・自治会離れや高齢化に伴う自治組織の課題について……………(本庁舎)
- ・空き家対策について……………(本庁舎)

## 対話集会を終えて

多治見市議会では、平成22年度から対話集会を開催し、毎年度、テーマや会場設定を工夫して開催しています。昨年度は、開催日と新型コロナウイルス感染症の感染拡大が重なり、開催日直前で中止となりました。今年度は、ご参加いただいた皆さまに、感染症対策にご協力をいただきながら、無事開催することができました。

各回でいただいた声をもとに、各委員会で課題を抽出し、協議を行い、これからの動きとしてまとめましたので、報告させていただきます。

これからも、皆さまからお聞きしたご意見を議会活動につなげていくことはもちろんのこと、発言しやすいテーマや日時の設定を考えていきます。(広報広聴研究会)

※詳細内容については、多治見市議会ホームページに後日掲載いたします。  
<http://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/gikai/taiwa.html>

